

2023年10月21(土) 東京新聞

引きこもり相談低調

県に昨年度延べ741件 推計者1%未満

県は19日の県議会決算特別委員会で、引きこもりに関する昨年度の相談件数が延べ741件だったと明らかにした。県内には引きこもりの人が11万4千人いると推計されており、1%にも満たないことに対して県議から「実効性のある政策を期待したい」という声が上がった。

相談件数の内訳は、電話が448件、無料通信アプリLINEが123件、県

ひきこもり地域支援センターへの来所が170件。県は「支援は住民と直接関わる市町村の役割が重要」と指摘する一方、実績の乏しさは認め、「当事者や家族は相談をためらう場合が多い」と答弁した。本年度はウェブ上の仮想空間「メタバース」を使って、当事者に疑似的な社会参加の機会を持つもらう取り組みをしていることなどを説明した。
(志村彰太)